

【広域情報】雨期の到来に伴う注意喚起（東南アジア地域）

2018年8月3日

【ポイント】

- ミャンマー、ベトナム、ラオス、カンボジア等、東南アジアの一部地域では、局地的な豪雨により洪水や土砂崩れ等が発生し、多数の死傷者や避難民が出ています。
- また、メコン川の水位が上昇しており、流域地域では、川の氾濫により今後大きな被害が生ずるおそれがあります。
- 最新の気象情報の入手に努め、河川付近には近づかないなど、適切な安全対策を講じてください。

【内容】

1 東南アジア地域においては、6月から11月にかけて雨期に入り、8月には降雨のピークを迎えますが、今年は平年より雨量が多く、豪雨の影響でミャンマー、ベトナム、ラオス、カンボジアの一部地域では既に洪水や土砂崩れ等により、多数の死傷者や避難民が出ています。

2 また、メコン川の水位も例年の同時期に比べ高くなっており、ラオスの一部地域で、既に浸水・氾濫による被害が発生しています。今後も、ミャンマー、ベトナム、タイ、ラオス、カンボジア等で豪雨に伴う川の氾濫による浸水等が広い範囲で発生する可能性があります。これらの国に滞在中の方は、最新の気象情報の入手に努め、河川付近には近づかないなど、適切な安全対策を講じてください。

《 参考 》

- メコン川委員会ホームページ：http://ffw.mrcmekong.org/bulletin_wet.php
- ラオス気象局：<http://www.newcdmh.com/newc/>
- カンボジア水資源気象省（天気予報）：
<http://www.cambodiameteo.com/forecast?menu=116&lang=en&day=undefined&areaid=12>
- バンコクポスト：
<https://www.bangkokpost.com/news/general/1510690/flood-alert-as-mekong-water-rises>
- ニュースクリップ（タイの日本語紙）：
<http://www.newsclip.be/article/2018/07/31/37154.html>
- ベトナム国立水文気象予報センター：
<http://www.nchmf.gov.vn/web/vi-VN/43/Default.aspx>

3 浸水・氾濫のおそれがある地域にお住まいの方は、避難や外出できなくなる事態も

想定して、食料・水等の備蓄品を確認する、旅券を含む貴重品を浸水のおそれのない保管場所に移動させるなどしておきましょう。万一災害に巻き込まれた場合は、現地の気象当局等が発表する警報等に従って安全確保に努めるとともに、日本の留守家族、最寄りの日本国大使館・総領事館（下記連絡先）まで連絡してください。

4 海外渡航前には万一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届を提出してください。（<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>）

また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。（詳細は<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照）

【問い合わせ窓口】

外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311（内線）2902，2903

（外務省関連課室連絡先）

領事局海外邦人安全課

電話：（代表）03-3580-3311（内線）5139

海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp>（PC版・スマートフォン版）

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（モバイル版）

【現地連絡先】

在カンボジア日本国大使館

<http://www.kh.emb-japan.go.jp>

領事班 電話 023-217-161

メール consular.jpn@pp.mofa.go.jp